

①理科
科学ってとっても身近なもの「オリジナル鏡を作ろう!」
化学反応を利用して、世界でひとつしかないオリジナル鏡を作ります。透明なガラスに液体をふりかけて待つこと3分、美しい鏡のできあがり。目の前でガラスが鏡に変わっていく様子にはちょっと感動です。「青少年のための科学の祭典」で子どもたちに教えている万華鏡も作ります。科学って、実は生活の身近なところに潜んでいるものなんです。

②芸術科[音楽]
「電子ピアノでアンサンブル」
気分はオーケストラ
管弦楽曲の各パートを、音色を変えた電子ピアノでアンサンブルします。一人ひとりの弦・旋律は簡単でも、それぞれには大切な役目があります。全体の旋律が合わさったとき、深みの響きが生まれます。バイオリン奏者やホルン奏者になった気分で参加してみて、楽曲はエルガー作曲の「威風堂々」を予定しています。

③外国語科
C.A.L.L.を体験しよう
「Fun with English!」
スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)に引き続き、「英語教育改善のための調査研究会」に指定された大成女子高校。そのプログラムの大きな特長の1つが、C.A.L.L. (Computer-Assisted Language Learning)をとり入れていることです。今回は、Macintoshのコンピュータを使って、ゲームやパズルをまじえた楽しい授業を体験していただきます。

④芸術科[美術]
「オリジナル絵はがき」
「バステル・色鉛筆で絵はがきを作ろう!」
ネットやメールの時代だからこそ、手作りの絵はがきなんかもたらつたらやばりうれしい。ここではバステル・色鉛筆でオリジナル絵はがきを作ります。はがきサイズなら、自分の気持ちを伝えるメッセージカードや、部屋に飾るポストカードなど、気楽に描けます。ちょっと絵は苦手という人も、ほんの少しのポイントでOK。楽しく描いてみましょう。

⑤⑥⑦保健体育科
「ハドミントン・フットサル・ソフトバレーボール」
スポーツ体験でいい汗かこう!
いくら受験を控えているからって、勉強ばかりしていても効率はあまり上がらないもの。頭と体のバランスが大切です。体験の1日目にはハドミントン、2日目にはフットサル、3日目はソフトバレーボールで先輩たち思いっきり汗をかいてみませんか?高校ならではのプレーも体験できるし、楽しい部活動の一面も見られます。
※体育着と体育館シューズを持参してください。

⑧家庭科
「Cook with us!」
オリジナルひんやりスイーツに挑戦
リピーター続出の大成の体験学習! 来てみないとこの熱気は伝わらない!! 夏休みの3日間、中学生の皆さんが来るのを楽しみに待っています。部活動の体験もできますよ。

⑨国語科
「蒔絵(まきえ)を体験してみよう!」
日本の伝統技法を自分の手で
蒔絵とは、漆器の表面にうるしで模様や文字を描き、それが乾かないうちに金属の粉を蒔(ま)いて定着させる技法。中国や朝鮮半島にも見られない、日本オリジナルのアートなんです。体験では茶托(ちゃたく)や鉢々皿の上に、金や銀の絵を浮き上がらせます。

⑩地歴・公民科
「いにしへに思いをはせながら「古代ジュエリー 勾玉(まがたま)作りに挑戦!」
手作りのアクセサリーは、オリジナルティかあってとても魅力的です。古代の副葬品としてよく古墳から出土する勾玉、強さの象徴である牙をモチーフにしたといわれています。原石から削り立って、磨いて加工をして、穴を開け、ひもを付けてと、古代人の手作業を体験します。

⑪看護科
「Let's Try!! ナースのお仕事」
バイタルチェックを体験しよう
いつの時代も「なりたい職業」の上位にランクされる看護師。ここでは、血圧測定などのバイタルチェックに挑戦したり、パッチテストによる体質判定や、ヘッドメイキングを体験します。本番ながらの基礎看護技術のデモンストレーションや、実際に医療現場で使われている看護用品を見ながら話を聞くことができます。

⑫数学科
自分自身を思いっきり表現してみる!
「iMacで作るオリジナルシール」
デザインの世界も、今はコンピュータを使ったものが主流です。コンピュータデザインの特徴は、実際に塗ったり染めたりなくても、瞬時に色を変えられること。ここではさまざまなカラーやイラスト、いろいろな書体を駆使し、オリジナルティに満ちたシール作りにチャレンジします。

●部活動体験 13時00分~14時00分
バレーボール部、剣道部、陸上競技部、卓球部、バドミントン部、バスケットボール部、フットサル部
昼食、体育着、体育館シューズを持参してください。
(吹奏楽部は、8月25日に体験入部を行います。詳しくは[掲示板]を参照してください。)

●スペシャルライブにご招待
体験学習に来場してくださった中学生の中から抽選で、9月19日の「撫子祭」で行われるスペシャルライブにご招待します。出演予定アーティストと、現在交渉を進めているところです。
(出演者については、体験学習に来校いただいた時にお知らせします。)

掲示板

「体験学習」本校生徒スタッフ募集

- 日時 / 7月31日(金)、8月1日(土)・2日(日) 8時30分~12時30分
- 活動内容 / 体験学習に来校した中学生の受け案内補助など
- 募集期間 / 7月3日(金)まで
- 申し込み、お問い合わせは 入試広報部(担当 小川)まで

「SELHi英語教室」スタッフ募集

- 期日 / 9月19日(土)
- 活動内容 / 撫子祭で行われる小学生対象「SELHi英語教室」で、子供と一緒に活動する(事前の練習会があります)
- 募集期間 / 7月3日(金)まで
- 申し込み、お問い合わせは 外国語科(担当 小川)まで

吹奏楽部 体験入部

- 日時 / 8月25日(火) 9時00分~12時00分
- 場所 / 大成女子高校
- 対象 / 中学1~3年の女子生徒の方
- 申込方法 / 中学校の先生を通してご連絡ください。(各中学校の吹奏楽部顧問の先生に、詳しいご案内をお送りします。)
- お問い合わせは 吹奏楽部顧問 舟山まで

あなたのメッセージ募集します

メンバー募集やお知らせ、オススメの映画や本、自分のペットの写真など、みんなに伝えたいことを掲載します。

●申し込みは **To Say!** 編集部(メールアドレス tosay@taisei.ac.jp)まで。在校生はクラスと氏名、それ以外の方は連絡先と氏名を明記してください。

次回のTo Say!は10月中旬発行予定です。

- 学園創立100周年記念式典
- 撫子祭 ●文化祭 9月18日・19日に決定
●今年のゲストは……♡
- ニュース ●大成の学科・コース・系
●運動部・文化部の活躍
- To Say! インタビュー

大成女子高等学校情報誌 **To Say!** [トゥ・セイ]
7月

11 **sat** 学園創立100周年記念式典

12 **SUN** 学園創立100周年記念パーティー

13 **mon** 振替休日

14 **tue**

15 **wed** 創立100周年協賛事業「地球のステージ」

16 **thu**

17 **friday** 計算力テスト

18 **sat**

19 **SUN**

20 **mon** 海の日

21 **tue**

22 **wed**

23 **thu** 英単語テスト

24 **friday** 終業式

25 **sat**

26 **SUN**

27 **mon** 個人面談(1・2年)

28 **tue** 個人面談(1・2年)

29 **wed** 個人面談(1・2年)

30 **thu** 個人面談(1・2年)

31 **friday** 体験学習(中学生)

8月

1 **sat** 体験学習(中学生)

2 **SUN** 体験学習(中学生)

31 **mon** 2学期始業式

9月

1 **tue** 実力試験

2 **wed**

3 **thu**

4 **friday** 計算力テスト

5 **sat**

6 **SUN**

7 **mon** 全校集会

8 **tue**

9 **wed**

10 **thu**

11 **friday** 英単語テスト

12 **sat**

13 **SUN**

14 **mon**

15 **tue**

16 **wed**

17 **thu**

18 **friday** 撫子祭

19 **sat** 撫子祭

20 **SUN**

21 **mon** 敬老の日

22 **tue** 国民の休日

23 **wed** 秋分の日

24 **thu**

25 **friday** 国語テスト

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町3-2-61 Phone:029-221-4888 Fax:029-228-2850 <http://www.taisei.ac.jp/> mailto:tghs-info@taisei.ac.jp

発行日/平成21年6月10日 To Say![トゥ・セイ] Vol.31 2009 編集・発行/大成女子高等学校 To Say! tosay@taisei.ac.jp

SELHi
スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

100th Anniversary in 2009

Taisei Girls' High School To Say!

10



女子高生パワー全開!! スポーツフェスティバル開催

総合優勝は「1年2組」S.F.史上初の1年生クラス!

5月1日、今年度最初の大きな行事「スポーツフェスティバル」が県立スポーツセンターで開催されました。ソフトバレー、長縄跳び、綱引き、リレーなど熱戦が繰り広げられ、クラスの団結も深まりました。昨年は看護科の団結力の強さが光りましたが、今年は普通科進学コースの1年2組が総合優勝。1年生クラスの総合優勝は、スポーツフェスティバルが始まって以来の快挙です。

「2組のみんなは、どんなに強いチームが立ちはだかっても、決してあきらめたりはしませんでした。みんなで『がんばろう』『もう少しだよ』と声をかけあいながら競技に取り組みました。」(K.E.さん)

「クラスの皆がいたから優勝することができたし、あらためて自分が2組でよかったと思いました。初めてのスポーツフェスティバルがとてもよい思い出になつてよかったです。来年のスポーツフェスティバルも楽しいものになるといいな。2組最高!(^o^)/(O.M.さん)

スポーツフェスティバル結果発表

全校総合	3学年	2学年	1学年
優勝……1年2組	優勝……8組(看護科)	優勝……7組(看護科)	優勝……2組(進学コース)
準優勝……2年7組	準優勝……6組(保健・福祉系)	準優勝……1組(特別進学コース)	準優勝……3組(進学コース)
第3位……3年8組	第3位……3組(科学・医療系)	第3位……4組(家政科)	第3位……4組(家政科)

The History of Taisei Girls' High School Vol.6

創立100周年を迎えた大成女子高等学校。これまでの100年の歩みを、シリーズでご紹介します。

制服の変遷

School Uniform

女子高生たるもの、キレイで可愛くありたい気持ちはいつの時代も変わりません。ハイスクールライフに彩りを添え、パートナーとして力強く支えてくれる制服。その時代のファッションや社会の情勢を色濃く反映しながら、移り変わつきました。

① 制定以前

1909(明治42)年～

創立からしばらくの間は制服は決まっておらず、生徒は各自の着物に袴を着用していました。

② 制服の制定

1924(大正13)年～

紺サージの和服が制服とされました。当時女学生は各自の着物に袴を着用していました。

③ ポレロタイプ
1953(昭和28)年～

終戦後8年が経ついましたが、まだ物資は不足しており、布がいちばん少なくてすむ形を被服の先生方で考案した結果、この形が採用されました。

④ 背広型
1961(昭和36)年～

濃紺の背広型ジャケット+車ヒダのジャンバー

生の間で「えび茶式部」と言われ全国的に流行っていた海老茶色の袴と、黒の革靴を合わせて着用する生徒が多かったようです。

⑤ 和装から洋装へ 1928(昭和3)年～

冬は紺地、夏は白地のセーラー服、紺のひだスカートを着用しました。ネクタイは紺地で、中程に斜め2本の白線がついていて、家政科と研究科の生徒が製作を担当していました。

⑥ スカートからモンペ姿に 1941(昭和16)年～

全国の女学生の制服が同じスタイルに統一され、ヘチマ襟でベルト付き上着が標準となりました。衣料切替制度で制服は割当制となり、全員が崩した制服を着ることは困難になつてきました。戦争の激化で軍事工場への動員が始まると、スカートから、裾を絞つたモンペ姿になりました。

⑦ 紺色ブレザー 1985(昭和60)年～

明るい紺のブレザー+共布ベスト+箱ヒダスカート+エンジボタン。

⑧ 現在の制服へ 2005(平成17)年～

チャコールグレーのブレザー+ニットベスト+チェックスカート+カラーシャツ(3種)+リボン(2種)。



[To Say!] Interview



普通科特別進学コース K.K.さん

— バレーボールはいつから？

H: 小学3年生から始めましたが、本格的に取り組んだのは中学校からです。大成のバレーボール部が、春高バレーや数々の大会で上位入賞しているのを知り、私もそのような環境で、自分を追い込んで、強い仲間と共に全国大会に出場したいと思いました。

— 練習に手応えを感じていますか？

H: 最初のうちはわからないことも多く、慣れるまで時間がかかりましたが、先輩方が優しく丁寧に教えてくださったので、とてもよい環境でバレーボールをすることができます。大変だと感じることもありますが、これを乗り越えれば強くなれる信じ、日々練習に取り組んでいます。練習後には、やりきった充実感と、できなかつたことへの反省がたくさん出てきます。

— 審生活をしながらの部活動は、大変ではありませんか？

H: 先輩を離れるのは不安でしたが、お互いに助け合いながらの生活なので、とても楽しいです。悩んだときには上級生や友達が相談に乗ってくれます。大会で授業に出られないときは、クラスの皆に遅れをとらないよう勉強も協力して頑張ります。私たちが一つの家族だと思っています。

— 今後の目標は？

H: 自分を信じて、辛いときこそ笑顔を忘れずにプレーをして、皆を引っ張っていきます。そして全国大会に出場し、目の前の一戦一戦を大事に戦って、頂点を目指します。

— これから受験校を選ぶ中学生に一言。

K: たくさんの高校を自分の目で見たり、選択肢を増やすために計画的に学習するとよいと思います。大成はとても楽しいところなので、ぜひ一度見学に来てください。



[To Say!] Interview

新入生インタビュー

H.N.さん

看護科2年生 「看護に関するエッセイ」入選

看護科2年生の二人が、平成21年度「看護に関するエッセイ」中高校生の部で入選し、5月16日に行われた第45回いばらき看護の祭典において表彰されました。「看護と私」をテーマにした同コンクールで、ボランティアでの患者さんとの関わりについて述べた富田真衣さんが優秀賞を獲得。命の大切さや看護師を目指す自身の決意を述べた木口瞳さんが佳作に選出されました。

成績

優勝……………峰山中学校

準優勝……………勝田中学校

第3位……………大島中学校

第4位……………笠原中学校

第5位……………赤塚中学校

第6位……………田彦中学校

峰山中学校が優勝 女子バスケットボール「大成杯」



5月2日・3日の2日間、大成女子高校を会場に、水戸市近郊中学校バスケットボール大会「大成杯」が開催されました。

水戸市やひたちなか市、那珂市や常陸太田市、常陸大宮市などの中学校から全12チームが参加し、1日目に予選リーグ、2日目に決勝トーナメントを行いました。各チームとも日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。見事優勝をおさめたのは峰山中学校。大成バスケ部も、チームオフィシャルなどで大会をサポートさせていただきました。

「私のエッセイが入選するなんて、正直驚きました。他の方の書いたエッセイを読んで、看護とは何かをあらためて考えさせられました。」(富田さん)

「表彰式はとても緊張しましたが、よい経験になりました。看護師や保健師の方とお会いし、自分も夢に向かって精一杯努力していくと思いました。」(木口さん)

高校で大学の授業が聴ける 茨城女子短期大学「日本文化史」

式前川喜平 大臣官房審議官はじめとする文部科学省の方たちの視察があり、懇談を行いました。5年一貫課程で学ぶ生徒として、感じていることなどを、お話ししていただきました。

「被服は少し苦手でしたが、挑戦する気持ちで参加しました。難しい技術もありますが、その分やりがいも大きいです。みんな仲良しく、いい雰囲気の活動になっています。」(A.S.さん)

「100周年という節目に、貴重な経験ができました。皆で作業を分担しているのですが、一歩ずつ完成に近づいていくのが感じられ嬉しいです。できあがるのが楽しみ。」(I.A.さん)

歴代制服作成中

学園創立100周年にあたり、本校の歴代の制服を復刻する作業が進んでいます。作成しているのは、昭和初期から50年代までに着用され

た4タイプ。清水谷登志美先生の指導のもと、家政科2・3年生の有志6名で製作を行なっています。完成した制服は、7月11日に茨城県民文化センターで行われる創立100周年記念式典で披露されます。



普通科特別進学コース 特別授業「コロキウム」

第1回「児童福祉の今日の課題ー児童虐待と子どもの権利ー」昭和女子大学 高橋久雄先生

普通科特別進学コースでは、大学の先生による特別授業「コロキウム」(8回)を実施しています。コロキウムとは、ラテン語の colloquim(面談・会議の意)由来します。コロキウムメンバーとなった生徒有志が、事前学習のプリントを作つて受講者に配布したり、授業後にアンケート調査を行つて報告書を作成したりと、生徒の自主性や事前事後のコミュニケーションを重視しているのが特長です。

今年の第1回目は、昭和女子大学の高橋久雄先生による児童虐待問題に関する授業。児童養護施設の現場で活躍されていた先生のお話は、将来、保育士やカウンセラーを目指している生徒はもちろん、すべての生徒たちの胸に響いたようです。今後も昨年と同様、さまざまな分野の先生に登場いただく予定です。

「家庭内の環境が、子どもの将来のパーソナリティに大きく関わる。もし親という立場になつたら、これらを忘れず大切に育てていきたい。そ

「コロキウム」昨年度の実施内容

第1回 経営 もしも貴女が社長なら 武藏大学経済学部 安達智彦先生

第2回 國際 東アジアの国際交流 宇都宮大学国際学部 松公正先生

第3回 医療 地域リビング・ラーニングと理学療法 茨城県立医療大学保健医療学部 永原久栄先生

第4回 外国語 英語を使って仕事をすること 東洋大学経営学部 新井恭子先生

第5回 教育 アメリカの家庭科の教科書を読む 茨城大学教育学部 岩崎恭枝先生

第6回 環境 森林再生への取り組み 山形大学農学部 野堀嘉裕先生

第7回 行政 住民による自生的なまちづくり 福島大学行政政策学類 今西一男先生

第8回 理学 食生活の中の化学 成蹊大学理工学部 原節子先生

「家庭内の環境が、子どもの将来のパーソナリティに大きく関わる。もし親という立場になつたら、これらを忘れず大切に育てていきたい。そ

の防止の呼びかけを活発化することで、少しでも早く虐待の問題が減つてほしいと思った。進路の希望にかかるわざ、誰もが考えられる授業だったので、参加できよかったです。」(K.M.さん)

「あらためて児童虐待の厳しい現状を知った。また児童福祉法や児童憲章などの法律・スローガンの存在を初めて知った。児童虐待は年々増加しているが、オレンジリボン運動をはじめ

する